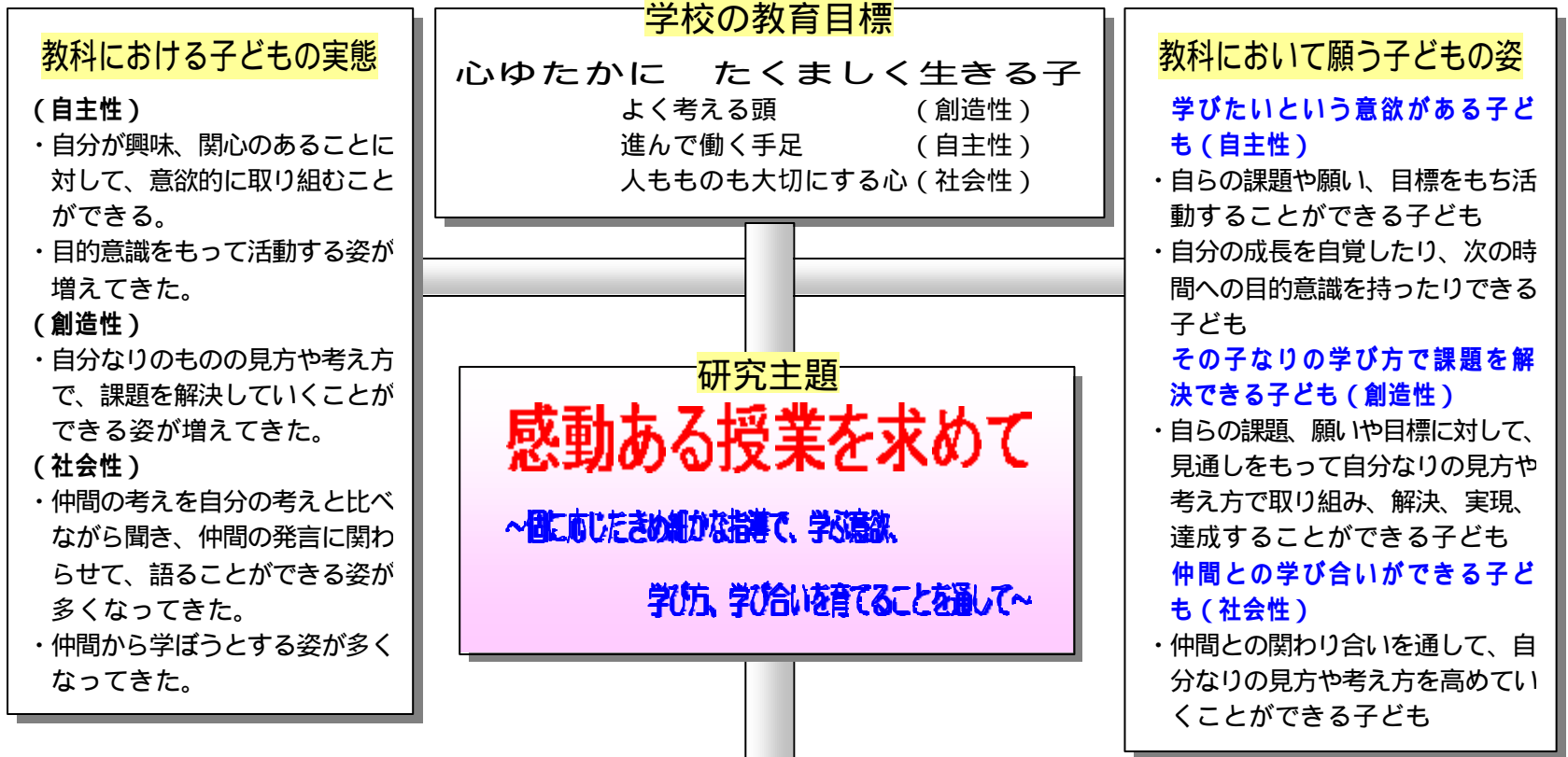


平成15年度 研究の全体構想



研究の仮説

教科の授業において、個に応じたきめ細かな指導によって、子どもの学びたいという意欲、その子なりの学び方、仲間との学び合いを育てることで、一人一人の子どもの心に感動が生まれ、学力が育つであろう。

研究の内容

学びたいという意欲 (自主性) を育てるために	その子なりの学び方 (創造性) を育てるために	仲間との学び合い (社会性) を育てるために
<p>一人一人の子どもが「調べてみたい」「解きたい」「作りたい」「できるようになりたい」「解決できそうだ」と思えるようにする</p> <p>【研究内容1】 一人一人の子どもが、目的意識を持ち続けることができる、評価の在り方。</p> <p>一人一人の子どもの意欲につながる自己評価を具体化する。 一人一人の子どもの特性をつかむ教師の評価を具体化する。</p>	<p>一人一人の子どもが「自分の方法で課題が解決できたぞ」「自分で分かったぞ」「自分でできたぞ」と思えるようにする</p> <p>【研究内容2】 一人一人の子どもが、自分なりの方法で課題を解決する事ができる、個に応じた指導・援助の在り方。</p> <p>一人一人の子どもの特性に応じた指導・援助を具体化する。 一人一人の子どものつまずきに応じた指導・援助を具体化する。</p>	<p>一人一人の子どもが「やっぱりな」「なるほど」「そうするといいのか」「友達のおかげでできたぞ、分かったぞ」と思えるようにする</p> <p>【研究内容3】 一人一人の子どもが、自分の見方や考え方、技能を高めることができる、学習集団の在り方。</p> <p>一人一人の子どもの目的に応じた小集団づくりを具体化する。 一人一人の子どもの見方や考え方、技能が高まる学び合いの方法を具体化する。</p>
<p>【昨年度に引き続き、大切にしていきたいこと】</p>		
<p>○一人一人の子どもにとって切実感がある学習課題になるようにする。 ○一人一人の子どもが課題解決の見通しをもてるようにする。</p>	<p>○一人一人の子どもが教科の学習の進め方を体得できるようにする。</p>	<p>○一人一人の子どもがお互いの考えや感じたこと、追究結果などを交流し合えるようにする。</p>

各教科の研究構想

